

或本の歌の曰く

三六三番

みさご居る 荒磯に生ふる なのりその よし名
は告らせ 親は知るとも

笠朝臣金村、塩津山にして作る歌二首

三六四番

ますらをの 弓末振り起こし 射つる矢を 後見
む人は 語り継ぐがね

三六五番

塩津山 打ち越え行けば 我が乗れる 馬そつま
づく 家恋ふらしも